

東建パブリニュース

平成27年11月11日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成27年11月6日 産経新聞 P. 18

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

東建コーポレーションが三重県桑名市に

ゴルフ場に会員制リゾートホテルが誕生

建設業の東建コーポレーションが、三重県桑名市のゴルフ場「東建多度カントリークラブ・名古屋」内に、このほど会員制リゾートホテルの「ホテル多度温泉 レジデンス新館」をオープンした。賃貸マンションの建築や仲介を主な事業としている同社にとって、新たな取り組みとなる。

目の前には美しいゴルフ場が広がり、館内には自家源泉の温泉プールやゴルフ練習場のほか、パーティーや商談に利用できるレセプションルーム



客室からゴルフ場を眺められる

(応接室・接待室)、会議や研修などにも利用できるゲストルームもある。また、全室に天然温泉の室内展望風呂を完備している。

同ゴルフ場は「東建ホームメイタカップ」の開催コースとしてもおなじみ。夜には客室から、静寂な空間に映えるイルミネーションを眺めることができる。同社の左右田鑑穂社長兼会長は「夜のゴルフ場は別世界。見ていたければ、驚かれると思います」と話している。ホテルの屋上や周囲の植栽や造園にも力を入れるという。

近鉄桑名駅から車で約25分。鉄筋コンクリート造りで地上8階建て。全21室のうち、13室の会員権を販売する。1室を12人相当でシェアするシステムを採用し、1口当たり年間30日分の宿泊が可能。宿泊利用券は、オーナー以外も利用しやすいように、無記名式のチケット制をとっている。

会員権に関する問い合わせは同社レジデンス事務局(☎052・232・2340)。

▲ 平成27年11月6日 産経新聞 P. 18

以上